

渚の交番



ひなせうみラボ

Hinase Umi Lab

日本の海洋文化と伝統を守り継承する拠点



ABOUT US

ひなせうみラボは、海洋教育・海洋体験・海洋研究の三つを柱に「子ども達を海に」「里海と里山とまちをつなぐ」を合言葉に、知る・学ぶ・体感できる施設です。

屋外広場ではイベント、ワークショップ、マルシェなども開催します。他にレンタサイクル・BBQ施設・貸会議室のご利用もできます。多くの生物が棲む海岸に降りて「不思議な海の生き物」を観察しよう。

SDGS (Sustainable Development Goals)
持続可能な開発目標



日生は古来より「ひなせ千軒漁師町」と呼ばれ、日生発祥の「つば網漁」など様々な漁業が営まれ発展してきました。しかし、高度経済成長期に生活廃水等によって海は汚れ、赤潮が多発し、漁獲高は急激に減少していきました。海の異変に気づいたつば網漁師本田和士（元日生町漁協組合長）はその原因を「アマモ場」の消滅（590haが12haまでに）と考え、漁師仲間にも声をかけて「アマモ場の再生」に取り組み始めたのは1985年のことでした。漁師たちは約40年の歳月を費やして1億粒以上の種を播き様々な工夫を凝らして270haにまで回復させました。九州大学名誉教授の柳哲雄先生は「里海」という概念を産み出し「人手が加わることで生物多様性と生産性が高くなった沿岸海域」と定義しました。柳先生は「アマモ場再生活動発祥の地」である日生を「里海のトップランナー」と称しました。そして「里海づくり」の拠点とすべく創設されたのが「渚の交番 ひなせうみラボ」です。「守る、学ぶ、体験する」をコンセプトに、海洋教育・海洋体験・海洋研究を三本柱として多くの「実践プログラム」を企画しています。「里海づくり」を通して〈海洋と地域〉の再生を一緒に考えていきましょう。

里海を守ろう

プログラム 1 | アマモ場再生活動

- 日生漁師・海の専門家の講演
通年：所要時間 30分
- アマモ場の観察(見学)
4~7月：所要時間 90分
- アマモ流れ藻の回収
5~6月：所要時間 90分
- 種の選別・種まき
9~10月：所要時間 90分



プログラム 2 | 里海の保全体験

- 海ごみ拾いとアートクラフト
通年：所要時間 要相談



プログラム 3 | 里海を体感

- シーカヤックで里海を滑る
4~10月：所要時間 要相談



プログラムの
詳細はこちら

里海に学ぼう

プログラム 1 | 漁業体験

- 底曳き網漁業体験
5~9月：所要時間 90分
- 牡蠣むき体験
1~3月：所要時間 60分



プログラム 2 | 里海めぐり

- 島めぐり遊覧船
通年：所要時間 60分



プログラム 3 | 里海の生きもの観察

- 里海の「不思議な生きもの」観察
通年：所要時間 要相談



ひなせうみラボがある日生諸島は瀬戸内海国立公園として素晴らしい景観を誇るとともに、多様な自然や希少な生きものが残されており、私たちの食卓に季節に応じた美味しい魚介類をもたらしてくれます。この豊かな海を次世代に残していくために、里海づくりを進め、引き継いでいかねばなりません。

FLOOR MAP

1F 物産コーナー / 多目的室 サービスカウンター / トイレ



2F 展望テラス レストラン



2Fレストラン



SatoUmi テラス
はあとす。

SatoUmi テラス はあとす。

電話番号：0869-92-4388
営業時間：11：00～17：00
（ラストオーダー16：30まで）
定休日：毎週火・水曜日

地元海産物を使った料理をランチで提供。
また、カフェではスイーツなども取り揃えています。

ACCESS



car JR日生駅から約6分
備前インターから県道397号経由 約18分
(岡山市内から約1時間)



bus 日生駅前から
備前市コミュニティバス頭島線入鹿行き
～ひなせうみラボバス停から徒歩約2分



運営団体 一般社団法人みんなでびせん〈渚の交番 ひなせうみラボ〉

住所 〒701-3204 岡山県備前市日生町日生3518-5
電話 0869-72-2000 FAX 0869-72-2001
営業時間 9：00～17：00
定休日 水曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始



HP



Instagram